

ANNE
FRANK

CHIUNE
SUGIHARA



生きるため
希望と幸福の未来を

THE HOLOCAUST

勇気の証言—ホロコースト展

アンネ・フランクと杉原千畝の選択 岐阜展

〈入場無料〉

The Courage to Remember: The Holocaust 1939-1945
The Bravery of Anne Frank and Chiune Sugihara

2018
3/8-11
(木) (日)
10:00~20:00

※但し、8日は13:00開場、11日は17:00閉場

岐阜市文化センター
(岐阜県岐阜市金町 5-7-2)

【主 催】「勇気の証言—ホロコースト展」実行委員会
【共 催】創価大学、サイモン・ウィーゼンタール・センター(米国)
【後 援】フランス大使館、大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館、イスラエル大使館、
リトアニア共和国大使館、オランダ王国大使館、ポーランド共和国大使館、アメリカ大使館、
駐日欧洲連合代表部、国連広報センター、NPO 杉原千畝命のビザ、
岐阜県、岐阜県教育委員会、岐阜市、岐阜市教育委員会、
八百津町 杉原千畝記念館、岐阜県ユネスコ協会、
岐阜新聞・ぎふチャン、FM GIFU

【協 力】創価学会平和委員会



アンネの姉
マルゴー・フランク
©Simon Wiesenthal Center
Archives, Los Angeles, California

アンネ・フランク
©Simon Wiesenthal Center
Archives, Los Angeles, California



ユダヤ人の母子に狙いを
けるSS（親衛隊）。
©我々は忘れてはいけない、1939-
1945年（ワルシャワ、1941年）



引き離され、移送される子
どもに分かれを告げる家族
©Kibbutz Lohamei Hagetaot



学生時代の杉原千畝
©NPO 杉原千畝命のビザ

ビザの発給を求めてカウナスの領事館に集まつたユダ
ヤ難民たち
©NPO 杉原千畝命のビザ

■ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。
又は、近隣有料駐車場をご利用ください。

※金公園地下駐車場（有料）は、文化センターとは
つながっておりませんのでご注意ください。

JR岐阜駅バスターミナル
10番「旦の島」「南柿ヶ瀬」、
11番「市内ループ右まわり」

岐阜市文化センター金神社前下車徒歩1分
■名鉄岐阜駅バスターミナル
5番「旦の島」「南柿ヶ瀬」

岐阜市文化センター金神社前下車徒歩1分
■バス利用の場合は、所要時間約5分

【注：バスの路線には変更がある場合があります。
乗られる際には、一度バスターミナルや
運転手の方にご確認ください。】

岐阜市文化センター
(岐阜県岐阜市金町 5-7-2)



THE HOLOCAUST

勇気の証言—ホロコースト展

アンネ・フランクと杉原千畝の選択

第二次世界大戦終結から70年をにあたる2015年、「勇気の証言—ホロコースト展 アンネ・フランクと杉原千畝の選択」を制作し、同年10月より展示会を開催しています。

本展では、ナチス・ドイツによるホロコースト（大量虐殺）の歴史をたどるとともに、その時代を生きた、「アンネの日記」の著者アンネ・フランクと、「命のビザ」で多くのユダヤ人を救った日本人外交官・杉原千畝の人生に光を当てています。

ホロコーストは、人類が20世紀に経験した最も悲惨な歴史の一つです。一方で、世界各地における民族対立、紛争、テロ、さらにヘイトスピーチ等に象徴される、人間が人間を差別し虐げる行為は、今なお続いている。その意味で、ホロコーストの歴史と、その時代を生きた人々との真実に迫ることは、あらゆる戦争や差別の根源を見出すことに繋がるのではないかでしょうか。本展が平和と人権を考えるための一助になれば幸いです。

「勇気の証言—ホロコースト展」実行委員会

第1章 ホロコーストの歴史

ホロコーストはいかにして起きたのか。ヨーロッパにおけるナチスの台頭、ヒトラーによる人種隔離政策、強制収容所でのユダヤ人絶滅計画とアウシュビッツ・ビルケナウにおける大量殺戮。人類の負の遺産として消し去ることのできないホロコーストの歴史を、米国サイモン・ウィーゼンタール・センター「寛容の博物館」の展示から紹介し、その真実に迫ります。

第2章 アンネと杉原千畝の選択

2年間におよぶ恐怖の隠れ家生活の中で、希望を失わず成長していった少女、アンネ・フランク。日本政府の命令に背いて「命のビザ」を発給し続け、6000人におよぶユダヤ人を救った外交官、杉原千畝。ユダヤ人迫害の嵐が吹き荒れた時代に、人間としてどう生きるかを迫られた二人の人生をたどります。

第3章 私からはじまる「人権」

自分にとって大切な人権は、他人にとっても大切であるにちがいない—こうした想像力を働かせることができれば、世界はより住みよい場所になるのではないか。そのための一歩は、自分から始まる。ホロコーストの歴史が、今を生きる私たちに投げかける問いについて考えるスペースを展開します。